

令和5年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和5年5月26日（金）18時30分～20時40分		
開催場所	白砂まちづくりセンター	参加人数	6
出席議員	川上幾雄、西田清久、岡本正友	議長	○
テーマ別に 出た意見	<p>【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供との交流が地域の活性化に <ul style="list-style-type: none"> ・子供会年間計画を作成しセンターとともに活動（クリスマス、餅つき、花火大会など） ・行事へ小学生を呼び込む…学校との一体化（他校との交流、運動会で異世代交流、屋内での運動会） ・センター起案で体験や交流（神楽練習、野菜作りや農業を通じて） 		
	<p>【福祉環境】健康について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サロン活動 <ul style="list-style-type: none"> ・センターを中心として歯の健康作り ○独居者の健康 <ul style="list-style-type: none"> ・常会を活用して安否確認 ・小組（隣近所）付き合いがまだ生きている ○ふれあい交流会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・非日常（変化のある）で一日を過ごす 		
	<p>【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○草刈 <ul style="list-style-type: none"> ・道路法面除草は人員不足している（ボランティア隊や防草コンクリートの検討が必要） ○柿栽培 <ul style="list-style-type: none"> ・灌水不良…協定している水量の調整困難、容量不足 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・赤字でも法人税が必要な法人化は行い難い ・認定農業者以外へも利活用できる少額補助が必要 		

	<p>【回答したもの】 ※回答概要も記載</p> <p>○柿栽培（灌水不足）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 灌水対策事業で見えなかったことを含め、地滑り対策の排水ボーリング活用・雨水集積タンク等再検討は必要 <p>○農業者への補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状維持が可能な程度でも取り組むべきと回答 <p>○青少年サポートセンター活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引きこもり対策として見えるものがあった （昨年の屋外活動にヒント、農作業と人間関係） ※有効な活動を検討すべきと回答 <p>○I ターン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受け入れ条件が多様化しており対応が難しい ・ 空家バンクへ入居しても地域との交流が難しい ※条件等を検討する必要ありと回答
自由意見	<p>【持ち帰るもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもとの交流や地域間交流へ活用できる移動車両確保 （総務、福祉） ・ 草刈へ大型機械（ユンボ装着）を導入できる事業（産業） ・ 過年により補償額が減少し、修繕費（ハウス等）の増加が農業継続の支障となりうるのでここに補助を（産業） ・ 柿栽培に必要な灌水の再調査、施設事業化を（産業） ・ 空家バンク活用者へのサポートを強化（総務）

令和5年6月2日 議会広報広聴委員 川上 幾雄